

「予防」時代の「予防歯科」の重要性（6）

今までに、この「かむかむ」での情報発信として、「予防」医療として、「予防歯科」の重要性について書いてきました。最後のまとめとして、今後患者さんの皆様が、健康で楽しく、美味しく食べて暮らしていく事へのヒントとなる(?)事について書いてみたいと思います。

まずは、健康で長生きして行く事が大切な、超高齢化時代の「人生100歳まで」の現代において100歳以上の方々が大変多いと言う時代になりました。しかし、その一方で、健康で毎日が送れている方々が、どれほどいるのでしょうか？寝たきり状態の高齢者、介護による支援や、施設でのケアが必要な方々が増えてくると、それに関連して経済的な問題もついて回ります。今後の日本社会の中で、医療問題や介護問題では、医療保険や介護保険などの社会保障費問題がクローズアップされてきています。更に今後は今以上に社会保障費が増大されてくることに対して政府は、受益者負担を増やす意向です。医療現場を苦しめるような政策や保険治療での診療報酬減らし、もしくは、今まで通りに社会保障関連の内容は行わせても、報酬は下げる。各地方の病院のベッド数を削減させていく方針など、我々を取り巻く健康維持のための環境は良くなることはありません。

歯科医療における保険診療でも、今後新しい分野の項目や材料が保険収載（保険導入）されると、今までの診療報酬点数を削る、他の項目と合併させて無くす（減点する、削減する）事で、その財源を他の新しい項目に回す。結果、総点数（診療報酬の総額）は上げない。と、言う方針をもう10年以上前から行っていることで、現場を苦しめ、更に歯科診療所によっては、保険外診療項目を勧めなければ潰れてしまう（ここ数年で倒産件数が増えている）。と、言う事態を招いています。しかし、政府（厚労省？中医協？）は、「力のある者だけが残っていただければ、それで構わない」（何故ならば、毎年歯科医師は2000人づつ増えるのだから）と、コメントしたと言う話が聞こえてきています。

やはり、悲しいかな！？今の日本では、そして今後の日本社会では、「自分のことは自分で守る！」と言う事が、より色濃く成って行く様なのです。元気で快活に暮らしていくためには、健康の源は食事ですよね。そのためには？健康なお口の環境で、何でもおいしく食べられることが重要です。日頃からお口の健康チェックとして、年間1回、理想は、半年に1回は、歯科検診を受けて頂く事と、お口の問題を早期発見早期治療で、時間と手間暇と経費の節約に努めて頂く事が、最も重要な事でしょう。重症化してからの治療は、皆さんにとって掛替えの無い「歯」を失う事に繋がります。お大事にしてください。（院長）